

保育目標：人間として 生きていく力を養い 心身ともに健やかな子どもを育てる

名東保育園



N0.5

2026. 8. 31(月)発行

〒465-0081 名古屋市名東区高間町 135

TEL (052) 701-2622 Fax (052) 701-2676

HP <https://meito-hoikuen.jp/>

せんせいはいどーこだ
(1歳児かめ組)



寒天あそび
(1歳児かに組)



ひと夏のいろいろな体験

せんせいをひっぱってあげよう！



先生と一緒に気持ちいいね～！
(3歳児いるか組)

じゃ～んぶ
(2歳児らっこ組)



そしてみのりの秋へ

今年の夏、家族や友だち、保育士といろんな体験をたくさんして
「ばーば（のところに）いった～！」「大きいプールに行ったよ～」
と楽しかった体験を思い出して一生懸命伝えてくれる子どもたちは、
ひとまわり大きくなったような。

夏ならではの体験を心に刻んでⅡ期へ！！

夏野菜カレーづくり
(5歳児くじら組)



パラダイスの夏まつりに参加
(4歳児しろくま組)
(5歳児くじら組)



スマートボール



金の紙コップに入ったら当たり！ラッキーボール



みんなで伏し浮き
(4歳児しろくま組)

夏の研修報告



この夏、職員が様々な研修に参加し、保育や保育を取り巻く情勢について学び、新たな視点を学ぶ機会となりました。お休みのご協力いただきありがとうございました。

◎七月二十四日(金)早期子ども発達支援担当職員研修
「医療ケア児・重心児の成長発達支援」
医師、理学療法士、保育士と異なる職種の方が集まった研修でした。子どもに関わる様々な機関で情報共有し、子どもの成長の支えとなると良いと感じました。

◎七月三十一日(金)早期子ども発達支援担当職員研修
「子どもの発達と生活・あそび」
発達支援では、できる・できないではなく小さな変化を捉え分析し、意味づける視点を学びました。人権では、事例を聞く中で発達支援が必要の子の気持ちになって活動や環境を考え保育する大切さを再認識しました。

◎八月二日(日)子どもの文化学校夏のセミナー
「子どもの声を中心に話し、問いや気づきに活動を進め、振り返りや記録を次の保育につなげる」という「対話する保育」について学びました。

◎八月二日(日)名古屋子ども権利擁護委員会
「名古屋子ども権利セミナー」
ディクシニア(読み書き障がい)の当事者である落語家、柳家花緑さんの講演会では「頑張る」という言葉について取り上げた話があった。我々は生まれてから死ぬまで幸せの中にいる。何もないことがありがたいことに気づかされた。

◎八月二十日(木)派遣型研修会「幼保小接続」
小学校学習指導要領に「あそびを通して育む力」という文が追加されている。年長から小学校一年生の架け橋においては、保育園で育んだあそびを通して学びや成長を土台にし、幼児期の意欲が低学年の各教科の学習に接続することが求められる。その為保育者があそびを通してどんな力が育ち、子どもの学びになるか把握し知識や価値観の上であそびをつくり出すことが大切だと改めて学んだ。

◎八月二十二日(土)〜二十四日(月)保育全国合同研究会(兵庫)
「子どもと自分の思いは違うかも...」その間に生じる「ズレ」は間違っているのではなくもう少し知りたいと思う入口になる、という話が印象深く日常の保育で「そうきたか!」と楽しみながら保育をしていきたいと思いました。

「NH」全体のテーマに「平和の種をまこう」という言葉がありました。未来を担う子どもと平和を作っていく役割があると再認識し、保育の質や絵本について学びました。

「YN」一つの遊びからルールを変えることで年齢に合わせて遊びを広げられることを学びました。子どもの「楽しい」を大切に、遊びの中で考える力を育てていきたいです。

「MK」〇・一・二歳児のあそびと生活について、他の保育園の取り組みを聞き意見交換しました。学ぶことが多く、今後の保育に活かしていきたいと思っています。

平和のつどい

戦後81年・・・

名東保育園では毎年、広島・長崎に原爆が投下された日にちを含む3〜4日間で「平和のつどい」を行っています。支援棟に職員や関係者から集めた資料や平和についての図書を展示したり、映画上映をしたり。地域の方も訪れてくださいます。お迎え時に親子で足を運んでくださる姿もありました。

3. 4. 5 歳児クラスは、担任と一緒に支援棟を訪れ、園長先生と「平和って?」「しあわせってどういう事?」など絵本を見ながら考えます。自分なりの思いを発言したり、友だちの意見に耳を傾けたり...。「お父さんお母さんと家族で笑い合っていること」「ごはんを食べている時」「友だちと遊んでいる時」などなど。子どもたちの思う幸せや平和です。お父さんお母さんや友だちを思い浮かべて、真剣に考えて相手に伝えようとする幼児の子どもたち。1年に一度立ち止まって家族で平和について考えてみるのもいいですね。

絵本「へいわってどんなこと?」の読み聞かせ(3歳児いるか組)

平和に関する絵本を手にとる(4歳児しろくま組)

渡邊 順平 (しろくま組担任)

私の実家は山梨県の市川三郷町というところにあります。花火とはんこが有名な小さな町です。毎年8月7日(花火の日)になると、大きな花火大会が開かれます。

父方も母方も祖父母が同じ町に住んでいましたから、ベランダに席を作ってみてみんなで見ていたのを覚えています。今となっては、兄も祖父母も東京におり、なかなかみんなで集まることができないため、特別な時間だったんだなあと思います。

秋になると、祖父母の畑へ行き、ぶどうを段ボールいっぱい収穫し、毎日食べていました。なので我が家では、ぶどうを買ったことがありませんでした。愛知県に来てから、スーパーに並んでいたり、おやつに出てきたりするぶどうを見ながら、地元の風景を思い出しています。

ふるさと探訪

宮野 貴子 (理事長・園長)

昼間は友だちと、夕方には水平線に夕日が沈む風景を見ながら家族と海水浴。海水浴場のある町で生まれ、育った私は、まさに「われは海の子!」遠浅の海は、岸から足がつかなくなるくらいのところ(100mくらい先)に飛び込み台あり。犬かき、横泳ぎ、平泳ぎ・・・なんでも泳ぎをしてそこまできき、一番上から何度も飛び込み、また岸まで戻ってくる。浅瀬では足でハマグリを挟んでとったり潜ってとったり・・・。魚釣りに出るおじいちゃんの船に乗せてもらうのも楽しかった。ある時は、沖に出たあたりから「泳いで帰れー」とおろされることも。何とも荒唐だ。そんなわけで夏は小麦色を超え、今では考えられないほどの真っ黒の肌。海の幸は新鮮で本当においしい。海で泳ぎ砂浜を駆け回り、海の幸をたくさん食べて育った私の身体の礎はわが故郷、島根(石見地方)にあり。地球温暖化の影響か、潮の流れも変わり、砂浜の面積も狭くなり、酷暑の砂浜は海水浴どころではないほどになったとか。

それでも落ちてきそうなほど近くに見える満点の星空。水平線のきれいな海。いつ見ても心躍る石見神楽。私の幼き日を知る人がたくさんいる大好きなわが故郷。名古屋に来て半世紀近くになる今でも年に1度は帰っていき、大切に育ててくれた今は亡き父母の墓前で手を合わせ、わが故郷の空気を浴びてくる。

《お知らせ》

①十月十日(土)は幼児運動会(三〜五歳児)です。乳児クラスの親子が参加できるあそびプログラムもあります。(詳細は後日お知らせします。雨天延期日は十月十一日(日)と十四日(水)です。

＊乳児クラスの土曜保育利用の方で、運動会の日にお休みのご協力を頂ける方はお願いいたします。

段ボールスタンプ (2歳児べんぎん組)

魚のステンドグラス (2歳児らっこ組)

風鈴 (4歳児しろくま組)

9月の行事予定

1日(火)	防災の日・避難訓練
2日(水)	プールじまい週間
8日(火)	名東パラダイス敬老会
9日(水)	名東パラダイス敬老会
17日(木)	誕生会